

令和5年4月26日

## 令和5年新嘗祭献穀者について

このことについて、県は宮内庁掌典長からの通知に基づき、令和5年4月13日付けで2名を献穀者として推薦したところですが、この度、同職より承知した旨の回答があり、下記のとおり献穀者が決定しましたので、お知らせします。

記

### 1 献穀者の市町村・氏名・献穀予定穀物・品種

川俣町	<small>ひろの</small> 廣野	<small>かつひさ</small> 勝久氏 (64歳)	精米	県オリジナル水稻品種「里山のつぶ」
下郷町	<small>ほし</small> 星	<small>たかお</small> 隆雄氏 (71歳)	精米	県オリジナル水稻品種「里山のつぶ」

### 2 新嘗祭献納の概要

献穀は、宮中の恒例行事の中で最も重要な儀式である「新嘗祭」に、全国各県の精農家が精米等の新穀を献納するものであり、明治25年以来、現在まで続いている伝統的な行事です。

新嘗祭献穀献納式は、例年10月下旬に皇居で行われており、今年は廣野様、星様より新米「里山のつぶ」が献納されます。

〔問い合わせ先〕

農林水産部水田畑作課

主幹兼副課長 矢吹 勝利

電話 024-521-7359 (直通)

(内線 3201)